

黒潮

和歌山県看護協会 会報

第157号

令和3年10月発行

CONTENTS

- ・地区支部だより 2～3
- ・COVID-19 感染症対策
職員が一致団結して行う
新型コロナウイルス感染症対策
(トピックス 2021) 4～6
- ・地域連携のコーナー 7
- ・医療安全数珠つなぎ 7
- ・訪問看護ステーションだより 8
- ・男の時短料理 8
- ・施設だより 9
- ・リレーエッセイ 友達の輪 9
- ・コロナ禍での看護協会事業 10～11
 - ・保健師助産師看護師職能合同研修会
 - ・保健師助産師看護師実習指導者講習会
 - ・保健所体制強化支援事業
 - ・看護師養成所等実習補完事業
 - ・新型コロナウイルス感染症の
宿泊療養における看護師派遣
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る
ワクチン接種人材確保業務
- ・和歌山県看護協会の動き 12
- ・プレゼント 12



河西田村病院 ▶ <施設だより> (9ページ掲載)



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 和歌山県看護協会

発行所 公益社団法人 和歌山県看護協会

発行人 東 直子

〒642-0017 海南市南赤坂17番地 TEL.073-483-1005 FAX.073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

和歌山県看護協会会員数

令和3年9月27日現在 登録者数

会員総数	6,289名
名誉会員	2名
保健師	137名
助産師	215名
看護師	5,806名
准看護師	129名

地区支部だより

伊都地区支部

支部長 西 未知子

伊都地区支部ではコロナの感染が続く中で、感染対策の重要性を再認識しました。そこで医療圏における感染対策の質の向上と連携を目的に、伊都地区支部に感染対策委員会を設置し、感染委員として地域で活躍できる人材「感染管理マネージャー」の育成を考え、第1回感染管理マネージャー養成研修を開催することにしました。

那賀地区支部

支部長 岡田 樹美

『まちの保健室』：

コロナ感染状況により内容変更。メッセージ付き感染対策グッズを病院等4ヶ所設置。個人取り出し式で配布。

『支部集会・研修会』：

新型コロナウイルス感染症対策に関する研修会を開催。今後に向けWebを同施設で同時試行。

感染拡大状況を見ながら、10月老年月間事業、11月研修会（レジリエンス－コロナに向き合ってきた保健・医療・福祉職に向けて－）開催予定としています。

和歌山地区支部

支部長 芝瀧 ひろみ

新型コロナウイルス感染症の影響により予定していた事業の中止が続き、老年看護月間にあわせて9月11日（土）予定していた「一日まちの保健室」の開催も見送ることになりました。

今後は感染対策をおこないながら11月6日（土）に第2回研修会を開催する予定です。「見直そう！感染対策」と題し、新型コロナウイルス感染患者の対応に尽力されている施設のスペシャリストから対応の実際を交えながら感染対策について学ぶ研修です。

海南・海草地区支部

支部長 清水 多津子

令和3年6月19日（土）リモートを併用した研修会を74名の参加者で行いました。恵友病院泌尿器科の小川隆俊先生をお招きし、「排泄について」の講演後、理学療法士の小池隼人先生、病棟看護師の林美有紀先生、地域連携室看護師の南方知春先生に実践発表を行っていただきました。「排泄介助と高齢者の自立動作が具体的にわかりやすかった」「自施設での取りくみの参考になった」等の意見が聞かれ有意義な研修となりました。





有田地区支部

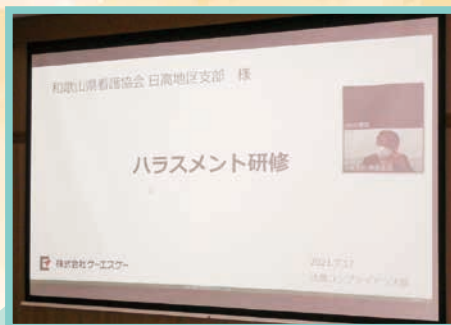
支部長 小原 喜代子

令和3年度の看護の日の行事は、新型コロナウイルスのため中止しました。

第1回研修会は、7/10（土）に、「ストレスとセルフケア～自分の事を大切に時間を持とう～」のZOOM研修を行いました。講師は、和歌山県立こころの医療センター、臨床心理士・公認心理師の福井麻由先生でした。マインドフルネスやヨガの体験もあり、リラックスできました。

自分時間を上手く利用する大切さを学びました。

第2回研修会は、実践報告会を予定しています。



日高地区支部

支部長 鳥淵 和美

7月17日（土）ひだか病院に於いて、令和3年度地区支部報告会と第1回研修会を開催しました。テーマは「ハラスメント」と題して株式会社ケーエスケー監査・法務コンプライアンス担当の菊辻英人先生に、Webにてご講演いただき29名の参加がありました。近年のハラスメント用語がたくさんあることを知り、職場における事例を通して分かりやすかったとの意見がありました。

11月には、老人看護月間行事を予定しています。

田辺地区支部

支部長 廣井 啓子

5月15日（土）オークワパビリオンシティ田辺店で「1日まちの保健室」を開催し、グッズ（マスク、ハローキティの絆創膏とクリアファイル等）を200名の方に看護の日のPRをしながら配布しました。

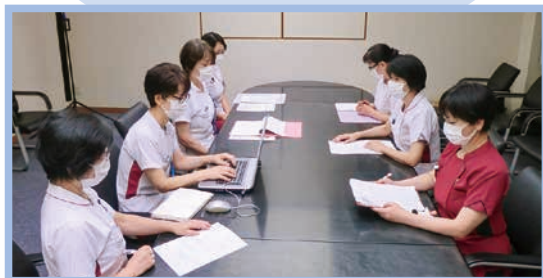
令和3年度地区支部報告会と第1回研修会を7月3日（土）にWEB開催しました。講師は、紀南病院 副看護部長兼がん化学療法看護認定看護師 岡地 美代先生に『ACPへの取り組み』をテーマに講演していただき、59名の参加がありました。人生の最終段階における医療やケアについて、とてもわかりやすく講演いただきました。



新宮・串本地区支部

支部長 栗原 久美子

令和2年度に引き続き令和3年度もコロナウイルス感染症に悩まされる日々が続く中ではありますが、今年度の地区支部役員会を8月23日（月）に開催しました。新宮・串本地区支部活動につきましては、地区支部の皆様の協力を得ながら、この地域の状況を鑑み検討を重ね計画を進めていく予定です。地域看護の質向上を目指し「何ができるか」を模索しながらしっかり活動していきたいと考えます。



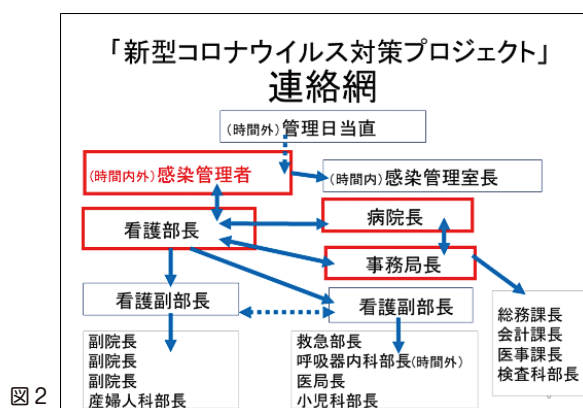
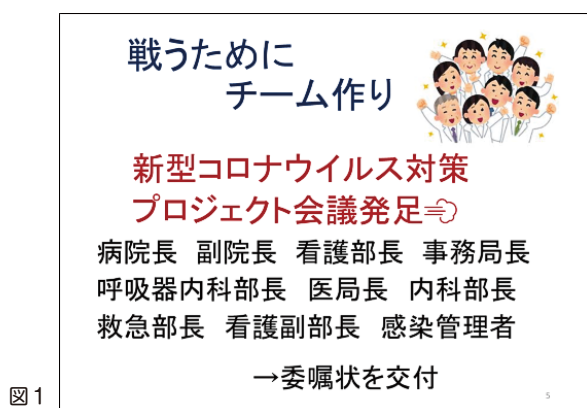
COVID-19 感染管理認定看護師による

職員が一致団結して行う 新型コロナウイルス感染症対策

独立行政法人 労働者健康安全機構 和歌山労災病院 感染管理者 太田 岳志

和歌山労災病院では、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）患者が県内で初めて発生した翌日（2020年2月）から新型コロナウイルス対応プロジェクトを発足し、幹部職員と感染管理室のメンバーを中心に頻回に会議を重ね、常に「全職員が院内感染を起こさせない」という意識を持ち、対応できるような体制を整備しました。今回は、その一部を紹介させていただきます。

チーム作り



ハードの整備

ハード面で一番に取り組んだことは、COVID-19 患者を1病棟にまとめるのではなく、7病棟に病床を確保しています。

一般入院患者と交差することのない合理的なゾーニングを実施しています。

防護具は枯渇することがないように、院長を中心に幹部職員が交渉し、職員の必要数が年単位で確保でき、安心して COVID-19 対応をすることができました。



看護体制

通常であれば、受け持ち看護師を固定して、交代勤務をする方が感染リスクが低いと考えます。しかし、当院では、各看護師が COVID-19 患者に関わる時間をできるだけ少なくし、勤務時間中は緊張感を持たせ、かつ病棟看護師全員が交替で受け持つことで差別意識が持たれないよう配慮することを優先しています。

各病棟に COVID-19 患者が入院しているため、感染管理者および感染管理認定看護師は、役割分担して看護体制に応じた感染対策を実践しています。

感染管理認定看護師三銃士の活動

当院には、感染管理認定看護師が三名（三銃士）在籍しています。感染管理認定看護師三銃士の所属部署は、感染管理室の専従（以下：感染管理者）、ICU／救急病棟の看護師長兼看護副部長（以下：ICU 師長）、COVID-19 病床の感染対策、指導担当の病棟師長補佐です。

それぞれの役割分担は、図3をご参照ください。三名の感染管理認定看護師の役割を明確にし、現場で専門的な知識と技術を提供することで、安全・安心な看護の実践が継続できています。

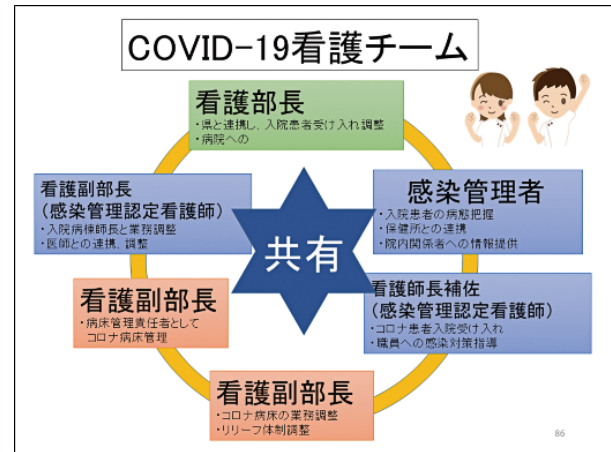


図3

他職種との連携

COVID-19 患者が、安全・安心して療養できるように、多職種から活発な提案もあり、様々な工夫をしながら対応しました。（下記一覧表参照）

感染管理認定看護師は随時、多職種からの相談を受け、指導します。また、出張勉強会を実施し、現場でレクチャーすることで、感染対策の強化や職員の不安軽減を図りました。

感 染 制 御 薬 剤 師	治療薬剤や吸入投与について患者に説明。
管 理 栄 養 士	味覚・嗅覚障害患者に対し食材、味付けの工夫。 デスポーザブル容器での配膳。 個人対応食の配慮。
中 央 検 査 部	県内初のPCR機器導入により、全入院患者のPCR検査の実施。 保健所から委託の接触者検診対応。
中央リハビリテーション部	入院患者の廃用症候群防止マニュアルの作成と指導。
中 央 放 射 線 部	COVID-19患者の撮影時は、一般患者と接触しないように時間の調整。
全 職 種	感染対策「楽しい修学旅行」DVD 作成。

社会貢献

当院は、地域を支える公的病院の役割を担っています。COVID-19 対策について、グループホームや介護施設、小・中学校などに感染管理認定看護師が訪問し出張研修を行いました。施設内の環境及び感染対策を確認、助言し、現場で正しい手洗いや防護具着脱などをレクチャーしました。また、看護部がリーダーシップをとりながら保健所の負担軽減を目的に、和歌山市 PCR 検査センターを和歌山市から移行導入し、順調に運用しています。



地域へ貢献

**クラスターを
発生させない！**

近隣の保育園・幼稚園、
小学校、介護施設、老健
福祉施設へ、正しい感染
防止対策の知識と技術を
感染管理認定看護師に
よる出前講義で周知する。

ホームページ掲載中

和歌山ろうさい病院 感染対策研修

～新型コロナウイルス～
クラスターを発生させないために

感染対策に必要な正しい基礎知識や技術をご提供します

◆集合研修：当院にご来院いただき研修会を行います。

◆訪問研修：ご施設に訪問して現場にあった対策を一緒に考えさせていただきます
※訪問研修は和歌山市近郊に限らせていただきます。

◆対象施設：学校・保育園・幼稚園・介護施設
福祉施設・事業所など

◆講師：当院の感染管理認定看護師

◆費用：当院規定により無料
きれいな手♪
うれしいね！

連絡先 和歌山ろうさい病院 TEL. 073-451-3181 (代表)
平日 10時～16時
○申込み窓口 総務課 庶務係
○問い合わせ 感染管理課

未曾有の感染症に対し、職員が一致団結して約 500 名の患者を受け入れてきましたが、院内感染はなく経過できています。また、訪問研修を実施した施設からもクラスターの発生はありません。今後も職員が一致団結し、質の高い感染対策を提供し、安全・安心な医療の実践が継続できるよう感染管理者として努めていきたいと思ひます。

社会医療法人 博寿会 山本病院

地域医療連携室長 大和田 成美



当院は、山と緑に囲まれた橋本市にあり周辺にはミカン畑や柿畑が多くあります。

山本病院は1984年に開設された内科を中心とした病院です。併設施設に老人保健施設「博寿苑」、訪問看護ステーション「ソレイユ」があり介護にも力を入れています。また、伊都橋本医療圏では珍しく、特に消化器内視鏡診療に力を入れています。

病院理念は安全・安心・ぬくもりのある医療、介護、福祉で地域に貢献するとしています。患者・家族の気持ちに寄り添い、一人ひとりに合わせた最新、最善の医療・看護を目指しています。

病棟は一般病棟49床、回復期リハビリテーション病棟35床の計94床です。社会医療法人の使命として救急医療や夜間休日の診療に365日、積極的に取り組んでいます。

一般病棟入院患者は近隣の病院や開業医からの紹介、施設からの入院を受け入れています。回復期リハビリテーション病棟は急性期治療が終了し、社会復帰を目指しリハビリテーションを目的として療養生活を送っています。

私の勤務する地域医療連携室は病院受付フロアの一角に配置されており、外来患者や入院患者の家族が訪ねやすい環境を心がけています。患者、家族だけでなく地域の多職種の方々の相談窓口になっています。

最近が高齢化が進むなか、退院したらどのように介護したらよいか、入所できる施設はないかなどの心配事の相談が多くなってきました。介護保険制度の説明や利用できる福祉サービスの提案、担当ケアマネージャーへの連絡など今まで以上に調整が必要となってきました。

現在、コロナの影響で入院患者の面会が全面禁止となっています。そのため、家族が知りたいことなど対応できるように病棟とも連携を密にして情報を共有しています。今後も患者・家族が安心して療養できるように在宅生活を支えられる看護職として、いつでもだれにでも頼られる、対応できる開かれた地域医療連携室を目指していきたいと思います。



ひだか病院

林 茂

医療安全 数珠つなぎ

当院では、各部署からのインシデント事例は、毎朝の師長ミーティングで共有し即座に対応しています。内容としては、服薬や転倒に関するインシデントが多くあります。

服薬に関して、確認不足や手順が守れていない事が多く、今後はKYTを行い個々のリスク感性を高める取り組みが必要であると考えています。また、転倒に関して、リスクのある患者のカンファレンスを毎日行い、予防のための行動制限を最小化する取り組みを行っています。

次回号に紹介させていただく方は、
県立こころの医療センター 山本 初太郎 様 です。



訪問看護ステーション ひかり

管理者 尾上 晃

令和2年4月の新型コロナウイルス流行真っ只中に当ステーションは開設いたしました。

当ステーションは有田川町を中心に訪問しており、特徴としては高齢者を中心に24時間対応と、地域で唯一の精神科の24時間対応も行っています。

有田川町は令和2年の高齢化率(65歳以上人口の割合)は31.8%と総人口の3割を超え、75歳以上の後期高齢者人口の割合は18.1%となっています。また、高齢者のみの世帯割合が増加傾向にあり、80歳以上の新規要支援・要介護認定者は国や県の平均を上回っている状況です。こういった状況から、介護サービスや医療サービスの需要は高まる一方ですが、認知度が低く、在宅医療についての認知度調査(町在住の65

歳以上回答744名)では「全く知らない」10.3%「言葉を聞いたことがある」40.3%と過半数を占めており、在宅医療が浸透していないのが現状です。コロナ禍でますます在宅療養を希望される方は増えてくると思われるので、医療施設から在宅に移る方のお手伝いできればと思っています。

今では開設して1年と少しが経ち、「ひかりさんに来てもらったら安心」「ひかりさんに来てもらってよかった」と言ってもらえる機会が増え、少しは地域の力になれているかなと感じています。今後もスタッフと切磋琢磨しながら、利用者さんの笑顔を原動力にして、看護の質向上に努めていきます。

第17回 男の時短料理

「キャベツとベーコンの ペペロンチーノ」

琴の浦リハビリテーションセンター 看護部 雑賀 信行



材料

2人分

- ☆にんにく……………2片
- ☆鷹の爪……………1本
- ☆ベーコン……………50g
- ☆キャベツ……………4枚
- パスタ……………200g
- オリーブオイル…大さじ3
- 塩……………大さじ1

作り方

- ① ベーコンとキャベツは一口大に切り、にんにくと鷹の爪は刻む。
- ② 鍋に水2ℓ塩を入れ沸騰させ、パスタを茹でる。
- ③ フライパンにオリーブオイルを入れ、☆の材料を炒めパスタのゆで汁を少し加える。
- ④ パスタが茹で上がったら③に移し、混ぜ合わせたら盛り付けて完成。

施設だより

河西田村病院

看護部長 塩治 功子



当院は、昭和 25 年 9 月開業医のいなかった島橋地区に、地域に密着した医療を目指して前理事長が医院を開業しました。診療所に対して地域から望まれていた、子供から高齢者まで、また、小児科、内科、外科と住民のニーズに対応した診療を行ってきました。その後、昭和 56 年に内科専門病院として河西田村病院を開設しました。

地域医療を担いつつ増改築をしながら令和 2 年 7 月に旧本館を建て替え新築し、現在一般病床 32 床、障害者施設 40 床、回復期病床 27 床の計 99 床となりました。在宅サービスや健診事業・介護事業といった地域の医療福祉にも積極的取り組んでおります。

和歌山市からの委託事業として開設された在宅医療・介護推進センターでは、医療機関や介護機関がスムーズに連携が取れるよう、研修会や検討会、また、市民の皆様に向けた講演会の開催を行っています（現在、コロナ禍のため十分な活動はできておりませんが）。

認知症初期集中支援事業では、認知症が疑われる人や認知症の人及び家族を訪問し、初期支援を行い自立生活のサポートに取り組んでいます。

患者をはじめ家族の多くは、老老介護、独居、認知症等色々な問題を抱えています。医療・介護の負担は日に日に大きくなり、医療と介護を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、職員全員で時代の変化に対応できるように日々研鑽しています。

私たちは、「地域の皆様の信頼を獲得し、社会に奉仕する『心ある』医療を提供する」という病院の理念のもと、地域の期待に応える医療、福祉、保健の確立を目指しています。今後も今まで以上に、地域住民の皆様から信頼される病院であり続けられるようさらなる多職種連携に取り組んでいきたいと思ひます。また、地域になくなくてはならない病院になるよう職員一同頑張っています。

コロナ禍が終息の見えない大変な状況であります。皆様方のご健勝をお祈りいたします。

リレーエッセイ

友達の輪

Vol.68

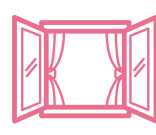
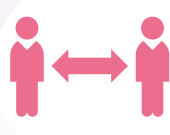
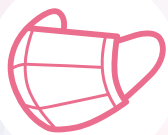


和歌山県立高等看護学院 助産学科

片桐 佳代

休日には、年長さんになった三女と散歩に出かけます。田舎道なので、生き物と遭遇することも多く、楽しみの一つになっています。途中、すれ違う方に元気にあいさつする娘をみると、私も自然に笑顔になります。何気ない日常の場面ですが、自分の在り方を考える機会になっています。私も出会えた人とのつながりを大切にし、お互いが気持ちよく過ごせるような関係づくりができるよう、心掛けていこうというも思ひます。

次回は、橋本市民病院の東 季映さんをご紹介します。



コロナ禍での看護協会事業



講演



シンポジウム

令和3年度 保健師助産師看護師職能合同研修会

今年も Web 参加も取り入れたハイブリッド形式で実施し、「地域共生社会の実現に向けて」というテーマで、和歌山大学経済学部教授 金川めぐみ先生の講演の後、各職能の立場での取り組みについて発表されました。

先生の講演から各シンポジストの発表まで、多角的な見地から地域を巻き込み、多様性を認めて共生していくための取り組みが示されていました。看看連携の取り組みそのものが地域共生社会の実現につながるのではないかと感じる内容でした。



グループワーク発表



閉講式

保健師助産師看護師実習指導者講習会

6月16日から8月6日まで、e - ラーニングも含め、180時間の日程で開催され、32名の実習指導者が誕生されました。各病院で実習指導者としてのご活躍を期待いたします。



ドライブスルー PCR 検査補助業務



PCR 検査準備業務



電話による健康調査



保健所体制強化支援事業

昨年に引き続き、県内保健所に対して健康調査及び PCR 検査の介助など看護協会の臨時雇用職員として看護職員を派遣しています。9 月 14 日現在 19 名の保健師・助産師・看護師の資格を持った潜在看護職員の皆さんが従事されています。働き方は個々に応じて設定されるため、潜在看護職員が働き始めるきっかけになることが期待されます。

パソコンとつないでいろいろな病態の設定に応じて看護を学びます



看護師養成所等実習補完事業

看護師養成所における医療機関での臨地実習が中止されている実情を踏まえ、学内演習に代替した場合にも学生が同等の知識と技術を習得するために必要な体制の構築を支援し、看護職員の養成、確保に資することを目的に、今年も多職種連携ハイブリッドシミュレーターシナリオを貸出し、演習支援を行っています。今年は、6 校が利用する予定です。



宿泊療養施設での健康管理業務

新型コロナウイルス感染症の宿泊療養における看護師派遣

令和 3 年 9 月 1 日から県内において 2 回目の宿泊療養が開始されています。

看護協会臨時雇用職員を宿泊施設へ派遣し、宿泊療養利用者の健康管理を行うため、潜在看護職員の方を中心に 14 名の方が従事されています。



就業準備金給付申請書



コロナワクチン接種業務

ナースセンターにワクチン接種業務への就業希望者として登録を行い、必要なワクチン接種研修を受講し、令和 3 年 5 月 21 日以降 12 月 4 日までに新たにワクチン接種業務に従事した場合に、当該潜在看護職等に対して、就業準備金として一人 1 回限りで 3 万円が支給されます。9 月 8 日時点で 102 名の該当者に申請書を発行しています。

日本看護協会受託事業

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務

和歌山県看護協会の動き

令和3年度 第3回理事会

日 時 / 令和3年8月12日(木) 13:30～16:30
場 所 / 看護研修センター 大ホール

I. 協議事項

1. ナース章の推薦について
2. その他

承認

II. 報告事項

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 会員数について
5. その他

令和3年度 第4回理事会

日 時 / 令和3年9月28日(火) 13:30～16:00
場 所 / 看護研修センター 研修室2

I. 協議事項

1. 給与規則の改正について

承認

II. 報告事項

1. 日本看護協会理事会報告
2. 日本看護協会主催会議報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 担当理事報告
5. 会員数について
6. その他

第40回

プレゼント!

はがきに ①氏名 ②会員番号 ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤勤務先名 ⑥本紙へのご意見・ご要望を明記の上、11月10日(水)までにお送りください。

(消印有効・1人1通のみ)

抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛 先 〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「10月号プレゼント」係



「足まくら」

または

「クオカード」

1,000円分

5名様に!

どちらか1つ
当たります!

プレゼント

応募者の声

● 毎号楽しみに読んでいます。

● 今回の「地域連携のコーナー」で勤務先の病院をとりあげていただきました。どのような思いをもって働いているか知ることができて嬉しかったです。

東洋羽毛

睡眠セミナー無料サービスのご案内

よく眠った人には、かなわない。

— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです —

睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします。

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

水と、空気と、睡眠と。



東洋羽毛イメージキャラクター 桃井かおりさん

《お役に立てる主な研修》

- ★ 医療安全対策研修
- ★ メンタルヘルス研修
- ★ 学校保健委員会
- ★ 高齢者の睡眠ケア



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所

和歌山県和歌山市吹屋町3-44-2



お気軽にお問合せください。

0120-32-7766